

Erster Teil

第1部

1. Chor

„Herr, deine Augen sehen nach dem Glauben!
Du schlägest sie, aber sie fühlen nicht;
du plagest sie, aber sie bessern sich nicht.
Sie haben ein härter Angesicht denn ein Fels
und wollen sich nicht bekehren.“

2. Rezitativ (Baß)

Wo ist das Ebenbild,
das Gott uns eingepreget,
wenn der verkehrte Will
sich ihm zuwider leget?
Wo ist die Kraft von seinem Wort,
wenn alle Besserung weicht
aus dem Herzen fort?
Der Höchste sucht uns
durch Sanftmut zwar zu zähmen
ob der verirrte Geist
sich wollte noch bequemem;
doch, fährt er fort in dem verstockten Sinn,
so gibt er ihn ins Herzens Dünkel hin.

3. Arie (Alt)

Weh der Seele, die den Schaden
Nicht mehr kennt
Und, die Straf auf sich zu laden,
Störrig rennt,
Ja von ihres Gottes Gnaden
Selbst sich trennt.

4. Arioso (Baß)

„Verachtetest du den Reichtum seiner Gnade,
Geduld und Langmütigkeit?
Weißt du nicht,
daß dich Gottes Güte zur Buße locket?
Du aber nach deinem verstockten und
unbußfertigen Herzen häufest dir selbst den
Zorn auf den Tag des Zorns und der Offen-
barung des gerechten Gerichts Gottes.“

1. 合唱

「主よ、あなたは真実をしっかりと見てくださっています！
あなたが彼らを打たれても、彼らは何も感じません。
あなたが彼らを苦しめても、彼らは改心しません。
彼らは岩よりも固い顔をして、
決して考えを改めようとはしないのです。」 [エレミヤ5,3]

2. レツィタティーフ (バス)

神が刻んでくださった
似姿はどこにいるのか？ [創世記1,27]
間違ったその意志が
神に逆らったならば、
御言葉の力はどこにあるのか？
すべての向上心が
心から消えてしまったならば、
いと高きお方は優しい心で
私たちを導こうとされる、
道に迷った霊が
導きに従おうとするならば、
だが、霊がかたくなな心のままで居続けるのなら、
神は霊を、心の思い上りのままに捨て置くのだ。

3. アリア (アルト)

悲しき魂よ、
お前は、自らの破綻を知らずに、
自分に罰を招こうとして
強情に走り回る。
そうだ、神の恵みから
みずから離れていくのだ。

4. アリオソ (バス)

「あなたは、神の恵み、忍耐と寛容
の豊かさを侮るのか？
知らないのか、
神の慈しみがお前を悔い改めに導くことを？
お前は強情で悔い改めを知らない心で
自分自身の中に神の怒りを、怒りの日に向かって
積み上げているのだ。
そしてこの時に、神の正しい裁きが示されるのだ。」

[ローマ2, 4-5]

5. Arie (Tenor)

Erschrecke doch,
Du allzu sichere Seele!
Denk, was dich würdig zähle
Der Sünden Joch.
Die Gotteslangmut geht auf einem Fuß von Blei,
Damit der Zorn hernach dir desto schwerer sei.

6. Rezitativ (Alt)

Beim Warten ist Gefahr,
willst du die Zeit verlieren?
Der Gott, der ehemals gnädig war,
kann leichtlich dich
vor seinen Richtstuhl führen,
Wo bleibt sodann die Buß?
Es ist ein Augenblick,
der Zeit und Ewigkeit,
der Leib und Seele scheidet;
verblendter Sinn, ach kehre doch zurück,
daß dich dieselbe Stund
nicht finde unbereitet.

7. Choral

Heut lebst du, heut bekehre dich,
Eh morgen kommt, kanns ändern sich;
Wer heut ist frisch, gesund und rot,
Ist morgen krank, ja wohl gar tot.
So du nun stirbst ohne Buß,
Dein Leib und Seel dort brennen muß.

Hilf, o Herr Jesu, hilf du mir,
Daß ich noch heute komm zu dir
Und Buße tu den Augenblick,
Eh mich der schnelle Tod hinrück,
Auf daß ich heut und jederzeit
Zu meiner Heimfahrt sei bereit.

5. アリア (テノール)

恐れなさい、
安心しきっている魂よ！
考えなさい、何がお前にとってふさわしいかを、
そして、罪のくびきを数えるのだ。
神の寛容さは鉛の足取りのように進む、
だからその後のお怒りはお前にとってますます重くなっていくのだ。

6. レツィタティーフ (アルト)

待つ間にも危険は迫っている。(待っているゆとりはないのだ)
お前は、時間を失おうとするのか。
かつて恵み深かった神は、
今や、やすやすとお前を
裁きの座に引き出すことができる。
そうなった時、どこに悔い改めのゆとりができるのだろうか？
時間と永遠、
肉体と魂を分かつのは
一瞬なのだ。
盲目となった(何もわかっていない)心よ、ああ、立ち返りなさい、
備えなして、
かの刻を迎えないように！

7. コラール

今日お前は生きている、今日考えを改めなさい、
明日が来ない前に、変わることができるのだから。
今日若くて、健康で紅顔でいても、
明日には病気で死ぬかもしれない、
だから、今お前が悔い改めなしに死ぬならば、
お前の体と魂は、かの地で焼かれなければならないのだ。

助け給え、おお、主イエスよ、私を助けてください。
私が今日のうちにもあなたのところに行き、
すぐに悔い改めが出来ますように、
急にくる死が私を押し流すその前に、
私は今日、そしていつでも、
自分の故郷への旅立ちの準備をしています。

[J.ペールマン作詞の悔い改めコラール「かくも真実に私は生きると、お前は神に言われる」SO WAHR ICH LEBE, SPRICHT DEIN GOTT(1630) 第6,7 節]